



デジタルサイネージ

ユーザーマニュアル

法的情報

このドキュメントについて

- この文書には、製品の使用および管理に関する手順が記載されています。本文中に含まれる図、表、画像、およびその他の情報は、説明および参考目的のみを目的としています。
- 本ドキュメントに記載されている情報は、ファームウェアの更新またはその他の理由により、事前の通知なしに変更される場合があります。最新のバージョンは、Hikvisionのウェブサイト（<https://www.hikvision.com>）でご確認ください。別途合意がない限り、杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社またはその関連会社（以下「Hikvision」といいます）は、明示的または黙示的ないかなる保証もいたしません。
- このドキュメントは、製品サポートの専門知識を有する専門家の指導と支援を受けてご使用ください。

この製品について

- この製品は、購入された国または地域でのみアフターサービスサポートを受けることができます。
- 選択された製品が動画製品の場合、以下のQRコードをスキャンして「動画製品の利用に関するガイドライン」を取得し、必ずお読みください。



知的財産権の承認

- ヒクビジョンは、本文書に記載される製品に組み込まれた技術に関する著作権および/または特許権を保有しています。これには、第三者から取得したライセンスを含む場合があります。
- 本文書の一部（テキスト、画像、グラフィックなど）はすべてヒクビジョンに帰属します。本文書のいかなる部分も、書面による許可なしに、全部または一部を問わず、引用、複製、翻訳、改変を行うことはできません。
- **HIKVISION** およびその他のヒクビジョンの商標およびロゴは、各管轄区域においてヒクビジョンの財産です。
- 他の商標およびロゴは、それぞれ該当する所有者の財産です。
- **HDMI**™ 「HDMI」および「HDMI High-Definition Multimedia Interface」ならびにHDMIロゴは、米国およびその他の国において、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

法的免責事項

- 適用される法律で許される最大限の範囲において、本文書および記載された製品（ハードウェア、ソフトウェア、ファームウェアを含む）は「現状有姿」かつ「一切の瑕疵およびエラーを含む」状態で提供されます。HIKVISIONは、明示的または黙示的ないかなる保証をいたしません。これには、商品性、

満足のいく品質、または特定の目的への適合性を含むがこれらに限定されない、いかなる保証もいたしません。本製品の使用は、お客様の責任において行われます。いかなる場合においても、HIKVISIONは、特別損害、間接損害、付随的損害、または派生損害（事業利益の損失、事業の中断、データの損失を含むがこれらに限定されない）について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、一切の責任を負いません。システムの破損、または文書の損失を含む損害について、契約違反、不法行為（過失を含む）、製品責任、またはその他の理由に基づくものであっても、製品の使用に関連して生じた場合、HIKVISIONは一切の責任を負いません。これは、HIKVISIONがそのような損害または損失の可能性について事前に通知を受けていた場合でも同様です。

- あなたは、インターネットの性質上、内在するセキュリティリスクが存在することを承認し、HIKVISIONは、サイバー攻撃、ハッカー攻撃、ウイルス感染、またはその他のインターネットセキュリティリスクに起因する異常な動作、プライバシー漏洩、またはその他の損害について一切の責任を負いません。ただし、必要に応じて適切な技術サポートを提供します。
- あなたは、この製品を適用されるすべての法律に準拠して使用することに同意し、あなたの使用が適用される法律に準拠していることを確保する責任は、あなただけに帰属します。特に、あなたは、第三者の権利（**publicity rights**、知的財産権、データ保護その他のプライバシー権を含むがこれらに限定されない）を侵害しない方法で本製品を使用する責任を負います。お客様は、大量破壊兵器の開発または製造、化学兵器または生物兵器の開発または製造、核爆発または安全でない核燃料サイクルに関連するいかなる活動、または人権侵害を支援する目的での使用を含みます。
- 本文書と適用される法律との間に矛盾が生じた場合、後者が優先されます。

©杭州 Hikvision デジタルテクノロジー株式会社。著作権所有。

適用対象モデル

このマニュアルはデジタルサイネージに適用されます。

記号の規約

本ドキュメントに記載されている記号は、以下のとおり定義されます。

記号	説明
 Note	本文の重要なポイントを強調したり補足したりするための追加情報を提供します。
 Caution	潜在的な危険な状況を指示し、回避されない場合、機器の損傷、データ損失、性能の低下、または予期しない結果を引き起こす可能性があります。
 Danger	高いリスクレベルを有する危険を指摘し、回避されない場合、死亡または重傷を引き起こす可能性があります。

目次

第1章 序論	1
第2章 注意事項と操作手順	2
2.1電源ケーブルの使用	2
2.2清掃とメンテナンス	3
2.3設置時の注意事項	3
2.4リモコン	4
第3章 起動とシャットダウン	5
3.1デバイスの起動	5
3.2シャットダウン	5
第4章 インテリジェントアプリケーション	6
4.1ホームページ操作	6
4.2設定	7
4.3FocSign プレイヤー	7
4.3.1 有効化	7
4.3.2 デバイスを追加	8
4.3.3 デバイスページでの操作	12
4.3.4 USB フラッシュドライブ経由でリリース	12
4.3.5 FocSign エディター経由でリリース	13
4.4ファイルブラウザ	14
4.5WonderCastServer	15
4.6システムにプリインストールされているアプリケーション	15
第5章 システム設定	17
5.1ネットワーク設定	17
5.1.1 有線ネットワーク設定	17
5.1.2 ワイヤレスネットワーク設定	17
5.1.3 ホットスポット設定	18
5.1.4 Bluetooth	19
5.2ディスプレイ設定	19
5.3オーディオ設定	20
5.4アプリ管理	20
5.5ストレージ管理	21
5.6セキュリティ	22
5.7システム	22
5.7.1 概要	22
5.7.2 日付と時間	23
5.7.3 言語と入力	23
5.7.4 その他の情報	23
5.8詳細設定	24

第1章 概要

デジタルサイネージ（以下「本装置」という）は、4辺が等辺の設計を採用し、狭いベゼル、スリムな本体、超薄型の背面シェルデザインが特徴です。シンプルなワイヤーガイド溝により、電源ケーブルと信号ケーブルを適切に配線・管理できます。

デジタルサイネージは、横向きと縦向きモードを自由に切り替えることができ、複数のウィンドウで画像と動画を同時に再生可能です。500から700ニットの高輝度と高霧防止性能を備えたプロフェッショナルな商業用ディスプレイ画面を採用し、明るい環境でもクリアなコンテンツ表示を実現。スマート広告やインテリジェントプロモーションに広く活用されています。

主な特徴

- 超狭額縁、均一な額縁デザイン。
- 超薄型バックシェルデザインにワイヤーガイド溝を搭載。
- 4K HD画質で、より詳細な画像表現を実現。
- 飽和度の高い広色域、クリアで広角の視野角。

第2章 注意事項と操作方法

本製品のLCDパネルは高精度技術で製造されています。ただし、画面上に常に点灯しているまたは点灯しない小さな斑点が確認される場合があります。また、側面から見た際に色や明るさが不均一に見える場合があります。ただし、上記の現象はLCDディスプレイの一般的な特性であり、故障ではありません。これらの現象はデバイスの性能に影響を及ぼしません。

- 当社では、本装置の操作時に第三者による故障、またはその他の故障や損傷については一切の責任を負いません。
- 粉塵、高湿度、または油や蒸気と接触する環境で本装置を操作しないでください。火災や損傷の危険を避けるためです。
- 直射日光や強い光源の近くには置かないでください。
- 強い放射線を発生する他の機器の近くに置かないでください。
- 装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。
- 装置を不安定または安全でない表面に置かないでください。強い衝撃、振動、または振動を避けてください。
- 火災の危険を避けるため、加熱装置の近くや高温の場所では本装置を操作しないでください。
- 低温環境から高温環境へ移動させた後、直ちに電源を入れないでください。結露が蒸発するまでお待ちください。
- 装置内にいかなる物体も挿入しないでください。
- 装置の上に重い物を置かないでください。
- 本装置およびその付属品は、予告なしに変更される場合があります。
- ディスプレイの脆弱な素材は、落下や衝撃に弱いです。取り扱いにはご注意ください。
- デバッグや操作中に不適切な操作を行うと、機器に損傷を与える可能性があります。
- 硬い物でデバイスを傷つけたり、叩いたりすることは厳禁です。操作中にデバイスの電源を頻繁にオン/オフしないでください。これにより、損傷や故障のリスクを回避できます。
- デバイスから煙、臭い、または異常な音が発生した場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜き、サービスセンターまでご連絡ください。

2.1 電源ケーブルの使用

- 電源ケーブルが損傷または故障している場合は、サービスセンターまでご連絡ください。電源が適切に接地されており、筐体に記載のプレートに指定された要件を満たしていることを確認してください。
- 装置を雨や湿気の多い環境にさらさないでください。雷雨時には電源プラグとアンテナを必ず外してください。
- 長期間使用しない場合、デバイスの電源をオフにし、電源供給を断ってください。

- 電源を切った後、一時的に放電が発生する可能性があります。電源を切った後、2分間待ってから装置を操作してください。
- 本製品に同梱されている純正の電源ケーブルのみを使用してください。同じ仕様の電源ケーブルを購入する場合は、正規販売店までお問い合わせください。
- 電源が接地されていることを確認してください。
- 電源プラグとソケットにはこりや金属製の部品が付着しないようにしてください。
- ケーブルをいかなる形でも改造しないでください。
- ケーブルの上に重い物を置かないでください。
- ケーブルを熱源から離して保管してください。
- ケーブルを引っ張って電源プラグを抜かないでください。
- 電源ケーブルを物理的または機械的な損傷から遠ざけてください。
- このケーブルはインタラクティブディスプレイ専用です。他のデバイスには使用しないでください。

2.2 清掃とメンテナンス

- 後部ケースの穴は放熱用です。後部ケースに液体をかけて噴射したり、湿った布で清掃したりしないでください。
- 清掃前に電源プラグを必ず抜いてください。
- 画面に高輝度の画像を長時間表示しないでください。
- デバイスを清掃する際は、乾いた柔らかい布を使用し、ほこりのない状態で清掃してください。
- 内部清掃が必要な場合は、サービスセンターまでご連絡ください。
- 適切なメンテナンスを行うことで、初期段階の故障を防止できます。
- 定期的にデバイスを清掃し、新品同様の状態で保ってください。
- 水、スプレー式クリーナー、または工業用化学薬品でデバイスを清掃しないでください。異物がデバイス内に侵入しないようにご注意ください。
- 装置のメンテナンスは、資格を持ったサービス担当者にご連絡ください。装置が損傷した場合、当社までご連絡ください。無断でのメンテナンスは行わないでください。

2.3 取り付け時の注意事項

- 最高の性能を発揮するため、設置前にデバイスの画面と背面を清掃してください。
- 安全のため、メーカーが提供する壁掛け金具またはベースのみを使用してください。
- 壁掛け設置については、専門のスタッフまでお問い合わせください。
- 取り付け前に付属品を確認してください。不足している部品がある場合は、販売店までご連絡ください。
- デバイスを過度に締め付けないでください。そうすると画面が歪む可能性があります。
- 装置は荷重に耐えられる壁に設置してください。
- 装置を安定した表面に置いたり、壁にしっかり固定してください。

- 電源接続が容易なAC電源ソケットの近くに装置を設置してください。他の装置と同一の接地ケーブルを使用し、信号干渉を防止してください。
- 機械的な振動源の近くに装置を設置しないでください。
- 昆虫が容易に侵入できる環境に装置を置かないでください。
- エアコンの吹き出し口に直接向けて置かないでください。結露を防ぐためです。
- 強い電磁場内に装置を置かないでください。無線干渉を避けるためです。

2.4 リモコン

マウスを接続して操作する以外に、赤外線リモコンを使用することもできます。操作手順のイメージは次のとおりです。

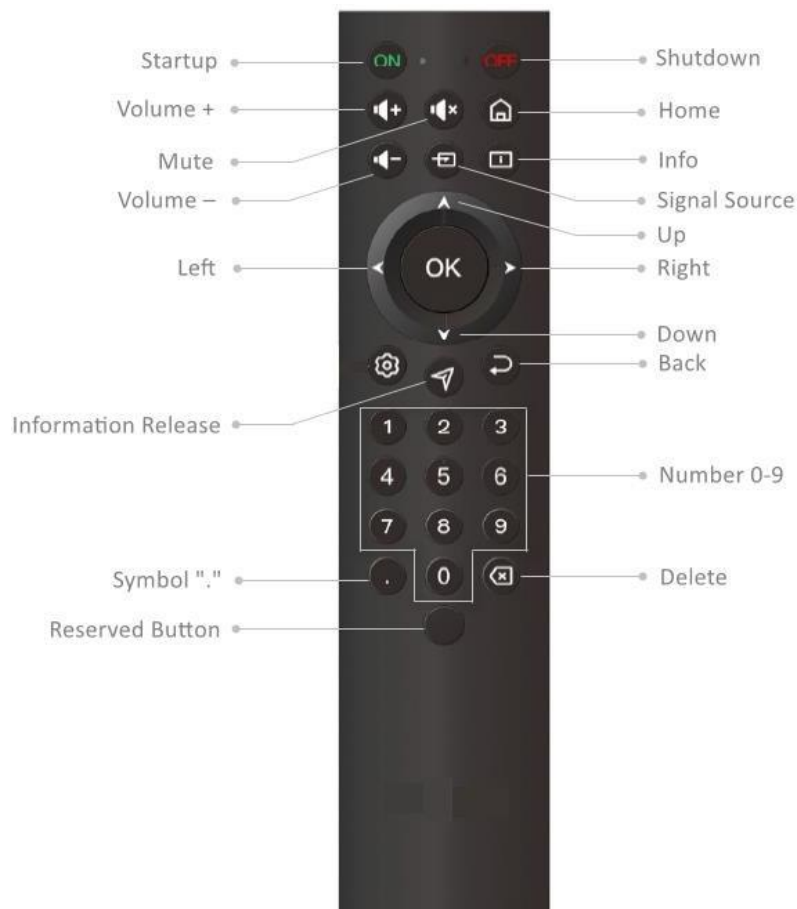


Figure 2-1 リモコン

Note

リモコンはバージョンによって異なる場合があります。実際の状況をご確認ください。

第3章 起動とシャットダウン

3.1 デバイスの起動

デバイスを電源に接続すると、自動的に起動します。

3.2 シャットダウン

電源を直接切断するか、リモコンの電源オフボタンを長押ししてデバイスをシャットダウンできます。



電源を接続したままリモコンの電源オフボタンを押した場合、リモコンの電源ボタンをクリックしてデバイスを起動できます。



第4章 インテリジェントアプリケーション

4.1 ホーム画面の操作

Note

ソフトウェアのインターフェースと機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。このマニュアル内のすべての画像は、説明のための例示用です。

デバイスを起動し、ホーム画面に移動してください。



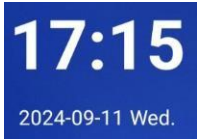
Figure 4-1 ホーム画面

Note

メイン画面のアプリケーションのアイコンを長押しして、以下の操作を実行できます:

- アプリケーションを画面間移動します。
- アプリケーションを他のアプリケーションとフォルダーに統合します。

Table 4-1 ホーム画面の基本操作

アイコン	説明
	ホーム画面の時刻または日付をクリックして設定を表示します。詳細については「 5.7.2 日付と時刻 」を参照してください。
	クリックして、有線ネットワーク、無線ネットワーク、ホットスポット、および Bluetoothの詳細な設定を指定します。詳細については「 ネットワーク設定5.1 」を参照してください。
	クリックして通知を表示します。

4.2 設定

クリックしてシステム設定に入ります。詳細については「**第5章 システム設定**」を参照してください。

4.3 FocSign Player

FocSign Playerを有効にすると、FocSign Player経由でデバイスにプログラムを表示できます。

4.3.1 Activate

手順

Step 1 ホーム画面の**FocSign Player**アプリケーションをクリックします。

Step 2 ポップアップウィンドウで独自のパスワードを設定します。

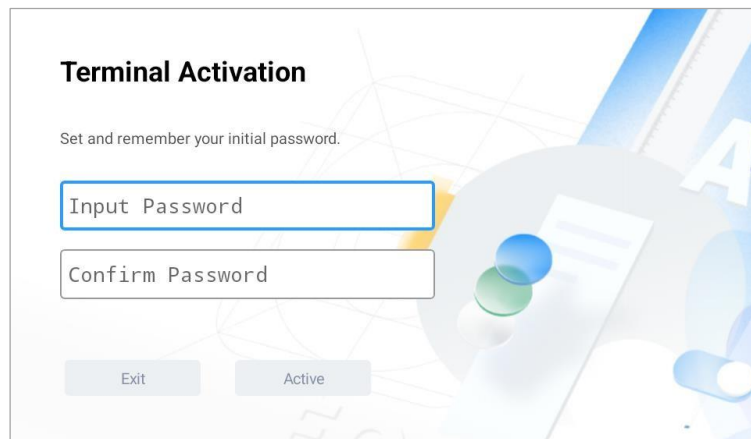


Figure 4-2 ポップアップウィンドウ

 Note

パスワードを必ずお忘れにならないようご注意ください。このパスワードは、以降の操作で頻繁に使用されます。パスワードを忘れた場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

Step 3 (オプション) パスワード保護を有効にします。パスワード保護を有効にすると、詳細設定ページで設定を行うたびにパスワードの入力が必要になり、デバイスのセキュリティが保護されます。

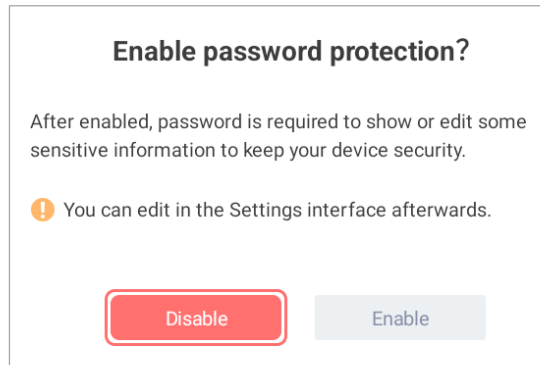


Figure 4-3 パスワード保護を有効にする

4.3.2 Add Device

FocSign Playerを起動後、サーバーを登録するか手動で追加することで、デバイスを追加できます。

自動登録

手順

Step 1 アクティベーション後に表示されるポップアップウィンドウで「登録」をクリックします。または、詳細情報ページに移動し、「情報表示」をクリックします。→ 「再接続」をクリックして登録します。

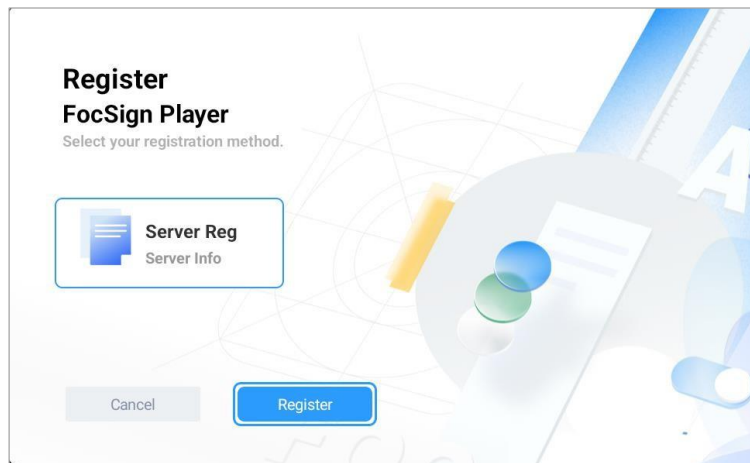


Figure 4-4 ポップアップウィンドウで登録

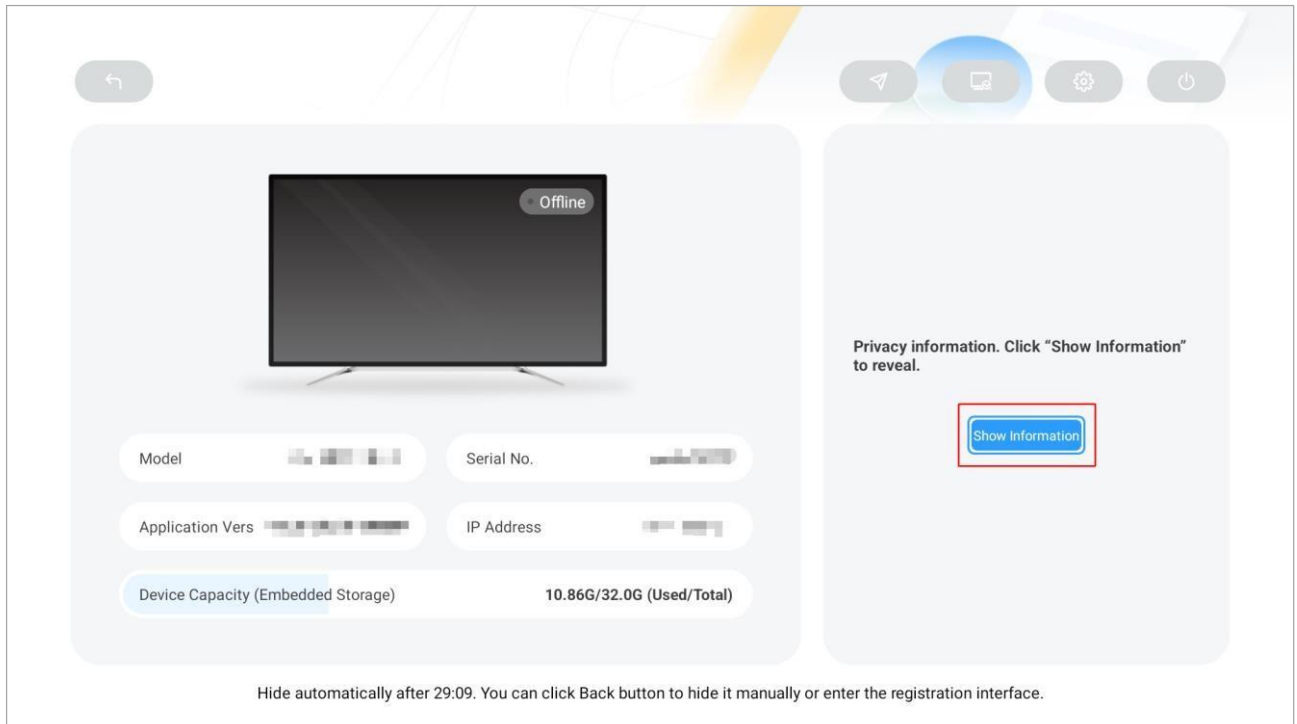


Figure 4-5 「Show Information」をクリックして登録します。

Step 2 デバイス名（カスタム）、サーバーアドレス、ポート番号、および HikCentral FocSign Web クライアントの認証コードを入力します。**OK** をクリックします。

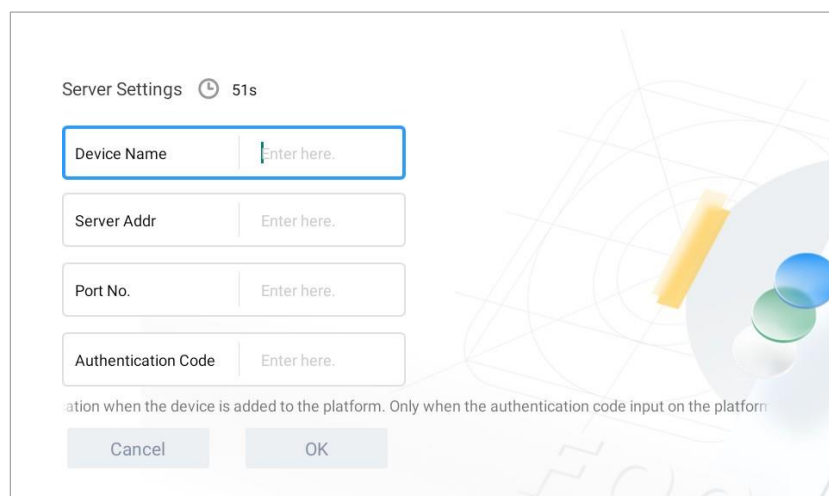


Figure 4-6 サーバー設定

Note

- サーバーアドレスはプラットフォームクライアントから取得できます。
- ポート番号はデフォルトで7660です。プラットフォーム上でカスタマイズ可能です。
- 認証コードは、デバイスをプラットフォームに追加する際の二次認証に使用されます。プラットフォームに入力された認証コードとデバイスに入力された認証コードが一致した場合のみ、デバイスが正常に追加されます。

Step 3 詳細情報ページを入力し、FocSign Playerの基本設定が完了します。

Step 4 HikCentral FocSign Web クライアントで、デバイス管理→デバイスとサーバー→

デジタルサイネージ端末→Auto Registration→デバイス上で「自動登録で追加」を選択します。

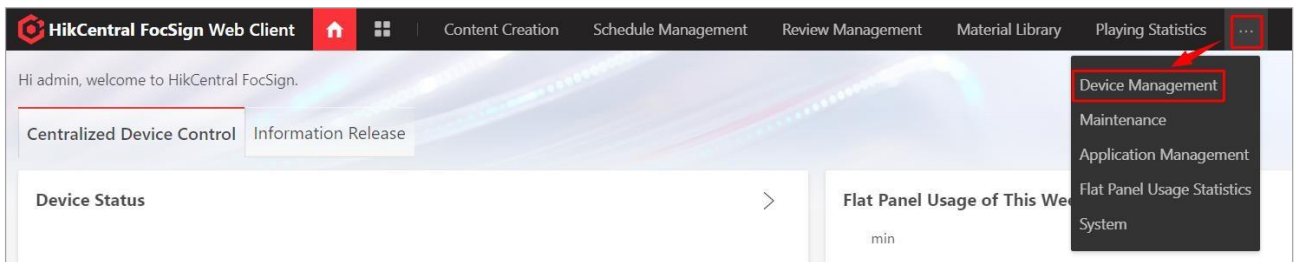


Figure 4-7 デバイス管理

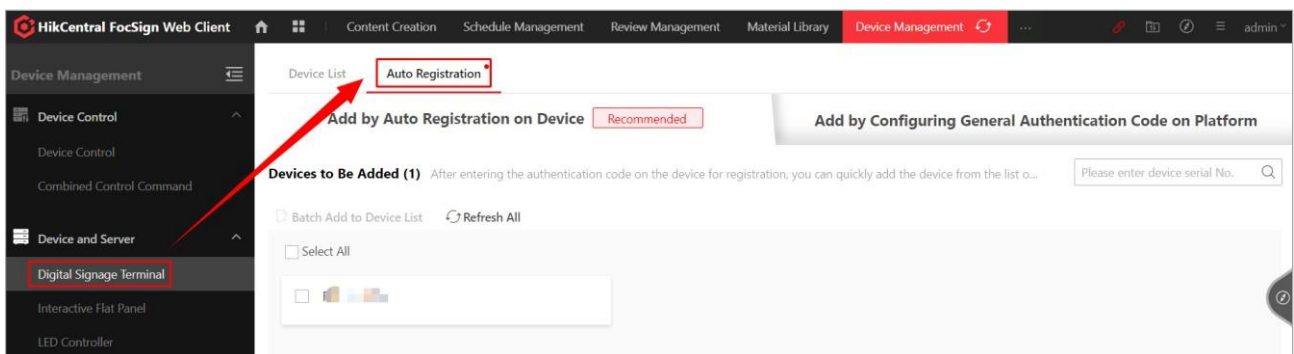


Figure 4-8 自動登録

Step 5 デバイスでのサーバー設定が完了したら、[すべて更新] をクリックします。プラットフォーム上でデバイスが見つかった場合、デバイスの [Offline] が [Online] に変更されます。

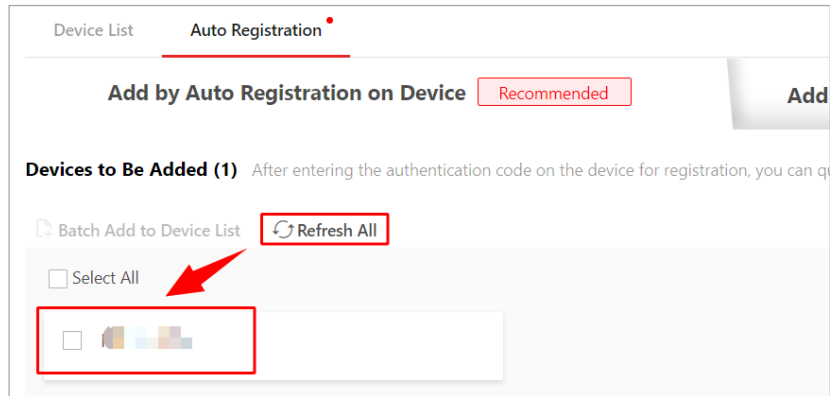


Figure 4-9リフレッシュでデバイスを検索

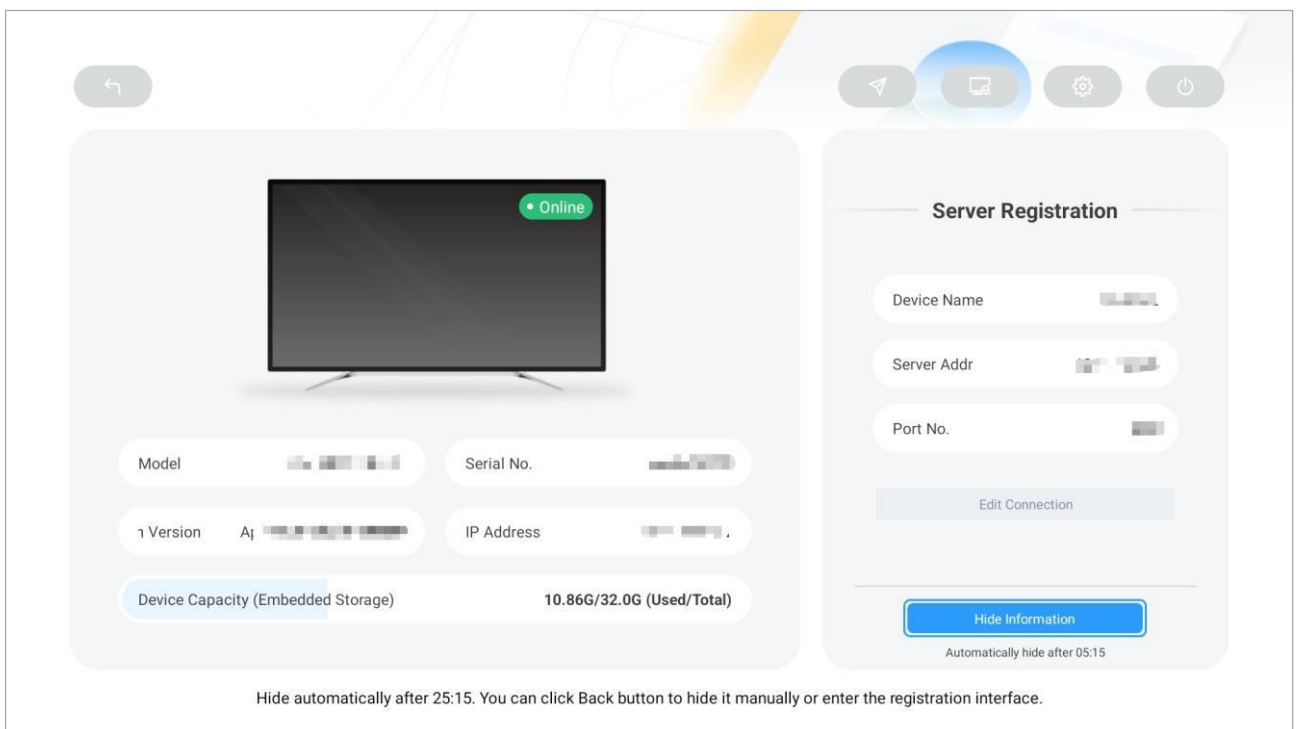


Figure 4-10詳細情報ページ

手動で追加

HikCentral FocSign Web Clientのユーザーマニュアル（第5.1.1章）をご参照ください。

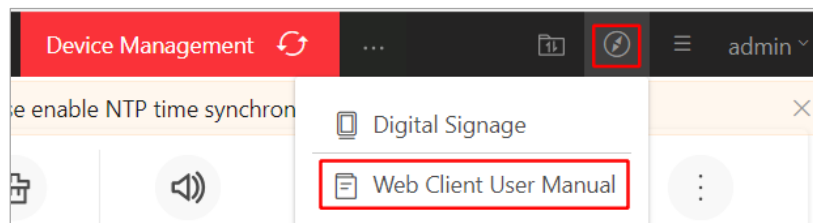


Figure 4-11ユーザーマニュアルを取得



ユーザーマニュアルには、その他の必要な操作も記載されています。例：コンテンツの作成、コンテンツの公開。

4.3.3 Operations on Device Page

ページの上には5つのボタンがあります。

Table 4-2 ボタン説明

アイコン	説明
	プログラム画面に戻るをクリックします。
	クリックしてFocSign Editorアプリケーションに移動します。詳細については、ユーザーマニュアルの「 4.3.5 FocSign Editor経由でのリリース 」を参照してください。
	クリックして、デバイスのネットワーク状態、ストレージサービスなどを検出します。
	● パスワード保護を有効にするか無効にするかを選択します。 ● プログラムを組み込みストレージに強制的に保存するかどうかを選択できます。または保存しないを選択できます。 ● デバイス情報を画面の左下隅に表示するか非表示にするかを選択できます。例：デバイスがオフライン時の通知。 ● ライブビューストリームメディアプログラムのウィンドウにフレームレートとネットワーク速度を表示するか非表示にするかを選択します。
	クリックしてFocSign Playerを終了します。

4.3.4 Release via USB Flash Drive

プラットフォームでのプログラムの公開に加え、USBフラッシュドライブを挿入して公開することもできます。

開始前に

- FocSign Playerがアクティブ化されています。
- 設定→セキュリティに移動し、ストレージ禁止を無効にします。

手順

Step 1 USBフラッシュドライブのルートディレクトリに「infoData」という名前のファイルを作成します。

Step 2 (任意) 素材ファイルに名前を付けます。ファイル名のルールは「番号_ファイル名.mp4/jpeg」です。例：1_material.mp4、22_material.jpeg。



番号は5桁以内にしてください。

Step 3 (オプション) 「infoData」フォルダー内にconfig.txtファイルを作成し、テキストファイル内に「time=10s」と入力します。数値10は画像の切り替え時間であり、デフォルト時間は10秒です。数値を編集し、USBフラッシュドライブを再挿入すると、対応する時間で画像が切り替わります。

Note

時間は10秒から604800秒の範囲内である必要があります。設定した数値が範囲外の場合、切り替え時間はデフォルトの10秒になります。

Step 4 USBフラッシュドライブをデバイスに挿入し、パスワードを入力してください。デバイスは自動的にフルスクリーンでプログラムを実行します。

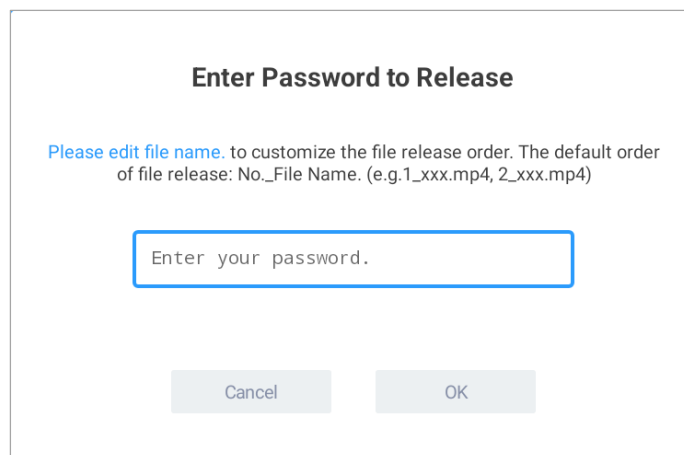


Figure 4-12 パスワードを入力して解放してください。

Note

- 素材名をカスタマイズした場合、再生順はファイルの番号順になります。
- 素材名をカスタマイズしていない場合、ファイルは最後に編集された順に再生されます。最後に編集されたファイルが最初に再生されます。また、画像は最初に再生され、その後動画が再生されます。

4.3.5 Release via FocSign Editor

FocSign Editorは、デジタルサイネージでプログラムを作成・配信できるローカル編集ソフトウェアです。ユーザーマニュアルは、以下のQRコードをスキャンしてご確認ください。



Figure 4-13 FocSign Editor ユーザーマニュアル

4.4 ファイルブラウザ

ホーム画面で「FileBrowser」をクリックします。デフォルトでは、現在のディレクトリ内のすべてのファイルが表示されます。
画像、**ドキュメント**、**AV**、または**インストールパッケージ**をタップして、指定したファイルを表示できます。

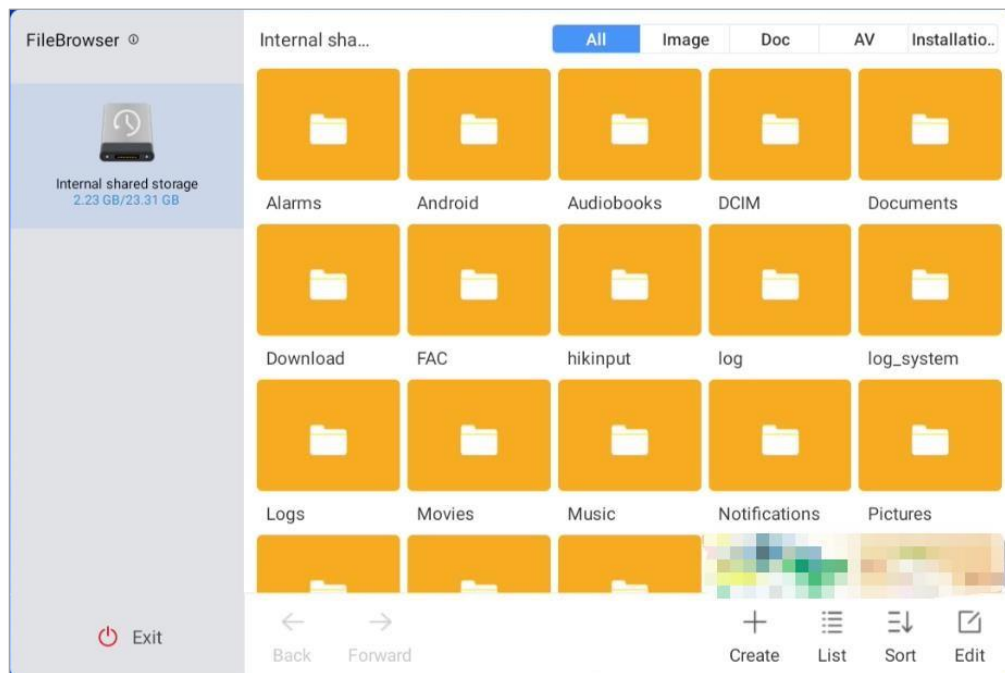


Figure 4-14 ファイルブラウザ

アイコンは次のように説明されています。

Table 4-3 FileBrowser アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
戻る/進む	前のページ/次のページに移動します。	作成	新しいフォルダーを作成します。
グリッド/リスト	ファイルをグリッドまたはリスト表示で表示します。	並べ替え	ファイルの順序を変更します。
編集	ファイルを編集します。	/	/

クリック  をクリックしてドキュメントを編集します。その他の機能は以下に説明されています。

Table 4-4編集アイコンの説明

アイコン	説明	アイコン	説明
すべてを選択	すべてのファイルを選択します。	コピー先	選択したファイルを別のフォルダーにコピーします。
移動	選択したファイルを別のフォルダーに移動します。	削除	選択したファイルを削除します。
共有	選択したファイルを共有します。	/	/

Note

ファイルを長押しして、その他の操作を実行します。

4.5 WonderCastServer

PCやスマートフォン画面をデジタルサイネージにミラーリングできます。WonderCastServerの詳細については、以下のQRコードをスキャンしてください。



Figure 4-15 WonderCastServer ユーザーマニュアル

Note

WonderCastの機能は、デバイスモデルによって異なる場合があります。実際のアプリケーションの状況をご確認ください。

4.6 システムにプリインストールされているアプリケーション

以下の表は、システムにプリインストールされているアプリケーションを簡潔に説明しています。詳細については、各アプリケーションのヘルプドキュメントをご確認ください。

Note

システムにプリインストールされているアプリケーションは、デバイスタイプによって異なります。

Table 4-5 システムにプリインストールされているアプリケーションの紹介

アプリケーション	概要
ファイルブラウザ	ファイルを管理します。
ギャラリー	SDカードやUSBメモリ内の画像を表示するために使用されます。
AM Player	AM Playerは、完全な機能を備えたメディアプレーヤーです。
WonderCastServer	デバイス、スマートフォン、またはPCを接続して画面ミラーリングを行うためのアプリケーションです。

第5章 システム設定

5.1 ネットワーク設定

ネットワークの状態は画面の下部に表示されます。

Table 5-1異なるネットワーク状態

アイコン	説明
	有線ネットワークに接続されています。
	無線ネットワークに接続されています。
	ネットワークに接続されていません。

5.1.1 Wired Network Settings

手順

Step 1 設定に移動し、→ ネットワーク→ 有線ネットワークを選択しま

Step 2 す。有線ネットワークを有効にします。

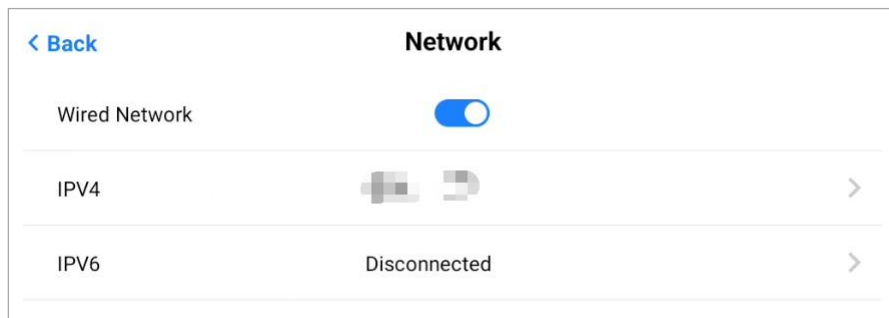


Figure 5-1有線ネットワーク設定

5.1.2 Wireless Network Settings

手順

Step 1 設定に移動し、→ ネットワーク→ ワイヤレス ネットワークを選択します。

Step 2 WLANを有効にし、新しいネットワークを追加したり、利用可能なネットワークに接続したりできます。

利用可能なネットワークに接続

利用可能なネットワーク一覧から希望のネットワークをタップし、パスワードを入力して接続します。

他のネットワークを追加

手順

Step 1「その他のネットワーク」をタップします。

Step 2 ネットワーク名を入力し、セキュリティを選択します。

Search and Join Wi-Fi

Network Name Enter SSID

Security Open >

Proxy None >

Static IP ☐

Cancel Connect

Figure 5-2 他のネットワークを追加

Step 3 (オプション) プロキシとネットワークのIPタイプを選択します。

Step 4 「接続」をタップして、デバイスを追加した無線ネットワークに接続します。

5.1.3 Hotspot Settings

デバイスが有線ネットワークに接続されている場合、ホットスポット機能を有効にすることで、他のデバイスに無線ネットワークを提供できます。

手順

Step 1 設定 → ネットワーク → ホットスポット。Step 2 ポータ

ブル WLAN ホットスポットを有効にする。

Step 3 ポップアップ画面でパラメーターを設定します。

< Back **Hotspot**

Portable WLAN Hotspot ☒

Name >

Security WPA2 PSK >

Password  >

AP Frequency Band 2.4GHz >

AP Channel 6 >

Figure 5-3 ホットスポット設定

Note

デバイスが2.4 GHzと5 GHzの両方をサポートする場合、**AP周波数**に5 GHzを設定し、**APチャンネル**には推奨チャンネルを選択することで、ワイヤレス画面ミラーリングなどの機能の動作がよりスムーズになります。

5.1.4 Bluetooth

リモコン、オーディオ、キーボードなどはBluetooth経由で接続でき、ファイル転送も可能です。

Bluetoothを有効にして、周辺にある利用可能なデバイスを検索し、接続したいデバイスをタップしてください。

5.2 ディスプレイ設定

設定→ディスプレイに移動し、明るさや画面の回転などのパラメーターを調整します。

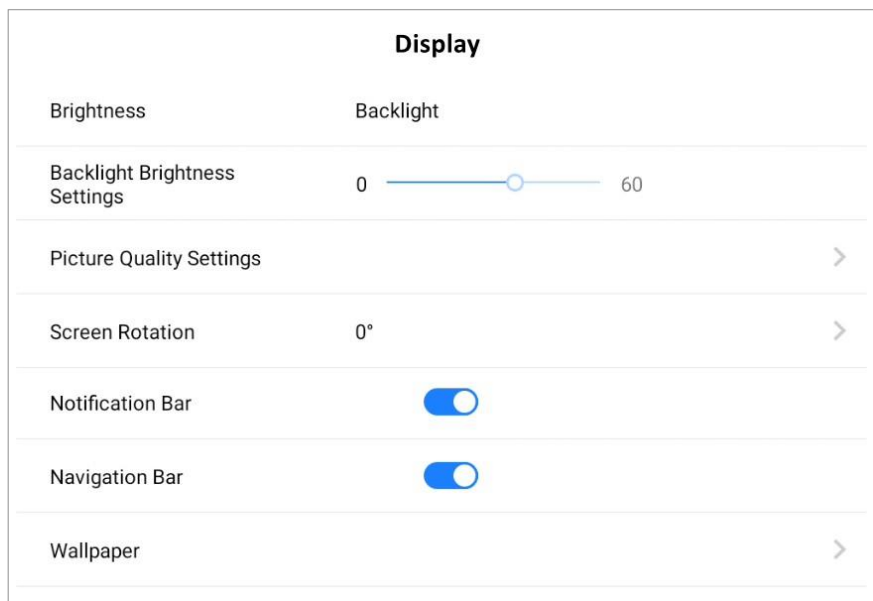


Figure 5-4 ディスプレイ設定

バックライトの明るさ設定

スライダーを動かして画面の明るさを調整します。

画像品質設定

クリックして、**画像モード**、**コントラスト**、**彩度**、**シャープネス**、**色温度**を調整します。 **画面回転**

クリックして画面の回転角度を設定します。

通知バー

通知バーを表示する。

ナビゲーションバー

ナビゲーションバーを表示する。

壁紙

ギャラリーまたは壁紙 & スタイルから壁紙を選択します。

5.3 オーディオ設定

手順

- Step 1 設定に移動し、→ **オーディオ**を選択してオーディオパラメーターを設定します。 **音量**値を調整します。
- Step 2 **タイマー付きオーディオ**を有効にします。この機能は HikCentral FocSign Web クライアントで設定できます。
- Step 3

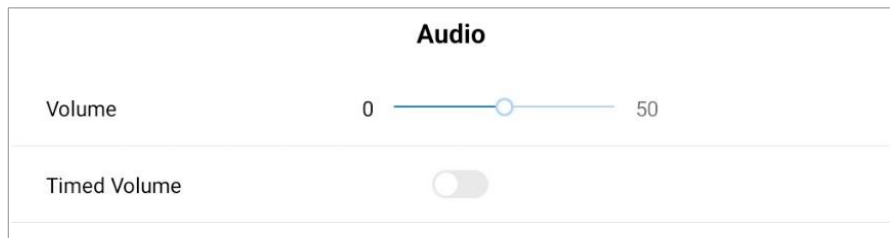


Figure 5-5オーディオ設定

5.4 アプリ管理

手順

- Step 1 設定に移動し、→ **アプリ管理**を選択します。
- Step 2 「**起動時に実行**」をクリックし、有効にします。デバイスが起動時に実行するアプリケーションを選択できます。
- Step 3 「**デフォルトのアプリ**」をクリックして、デフォルトの**ブラウザアプリ**と**ホームページアプリ**を設定します。詳細を確認するには、希望のアプリケーションをクリックします。
- Step 4

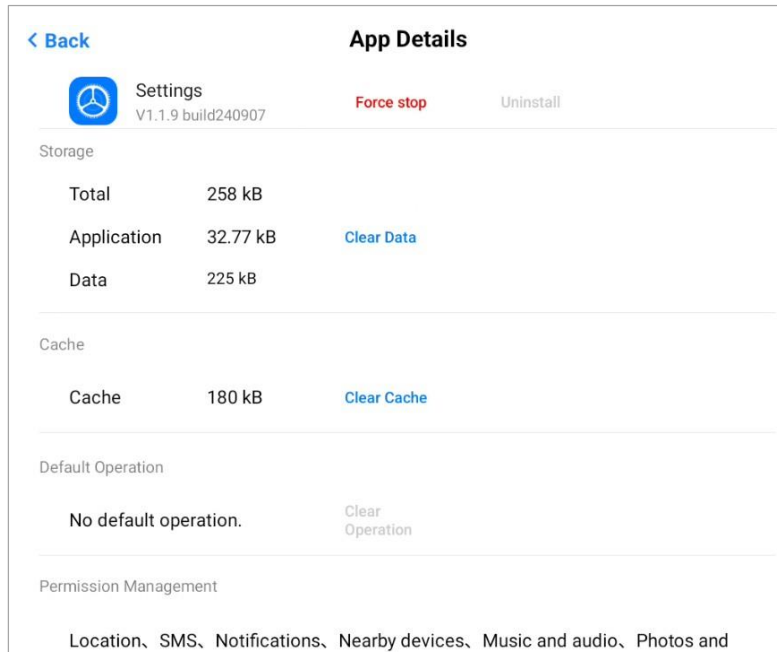


Figure 5-6 アプリケーションの詳細

Note

組み込みのアプリケーションはアンインストールできません。アプリケーションの詳細をタップすると、アプリケーションを開くことができます。

5.5 ストレージ管理

ストレージ管理をクリックして、詳細なストレージ情報を表示します。

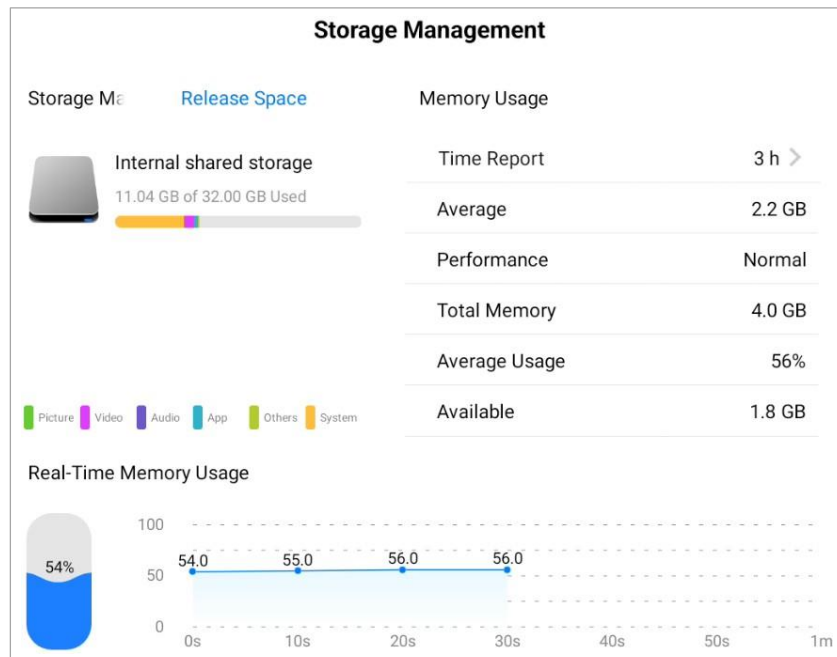


Figure 5-7 ストレージ管理の詳細

5.6 セキュリティ

設定に移動し、→ **セキュリティ**を選択してセキュリティ設定を構成します。設定を有効化する際に**アクティベーションコード**を入力する必要があります。

Note

ここで使用するアクティベーションコードは、デバイスに初めてアクセスした際に設定したパスワードです。

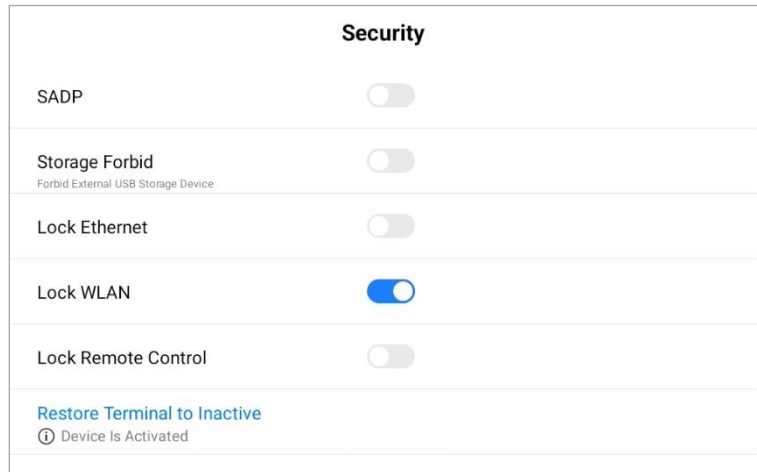


Figure 5-8 セキュリティ設定

5.7 システム

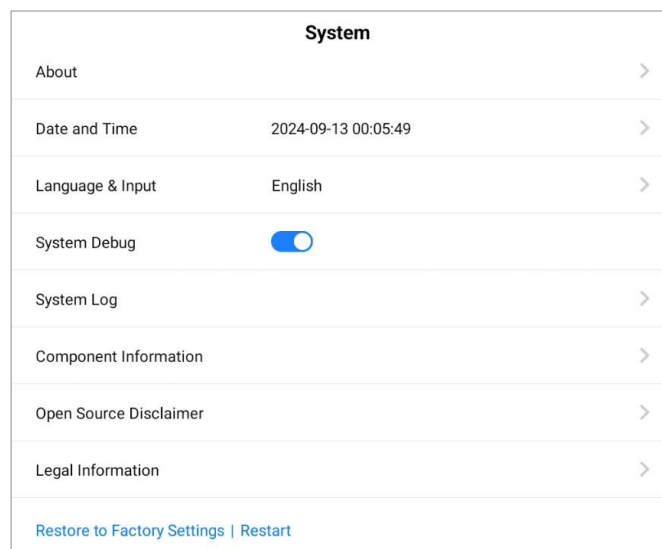


Figure 5-9 システム設定

5.7.1 About

クリックしてデバイス情報（例：デバイスモデル、シリアル番号、Android バージョン）を確認できます。

5.7.2 Date and Time

Date & Time	
24-Hour Format	☒
Time Sync. Mode	NTP Time Sync. >
Time Sync. Type	IP Address Mode >
IP Address	■■■■■■■■■■ >
Port No.	123 >
Time Sync. Frequency	10080min >
Set Date	2024-09-12
Set Time	16:50:21

Figure 5-10 日付と時刻の設定

Step 1 時間同期モードを選択します。

- 手動時刻同期モードを選択した場合、日付と時刻を手動で設定できます。
- NTP タイム同期モードを選択した場合、タイム同期タイプ（IP アドレスモードまたはドメイン名モード）を選択し、IP アドレス/ドメイン名、ポート番号、およびタイム同期頻度を入力してください。

Step 2 タイムゾーンを選択するには、[タイムゾーンを選択] をクリックしてください。

Step 3 (オプション) 24時間形式を有効にすると、時間を24時間形式で表示します。

5.7.3 Language & Input

手順

Step 1 設定→システム→言語 & 入力に移動します。言語をクリッ

クして、希望の言語を選択します。

Step 3 「入力方法」をクリックして、希望の入力方法を選択します。

Language & Input	
Language	English >
Input Method	Pad Input Method >

Figure 5-11 言語と入力設定

5.7.4 Other Information

「その他の情報」をクリックしてシステムデバッグを有効にし、システムログ、コンポーネント情報、オープンソース免責事項および法的情報、工場設定への復元、およびデバイスの再起動を確認してください。

5.8 詳細設定

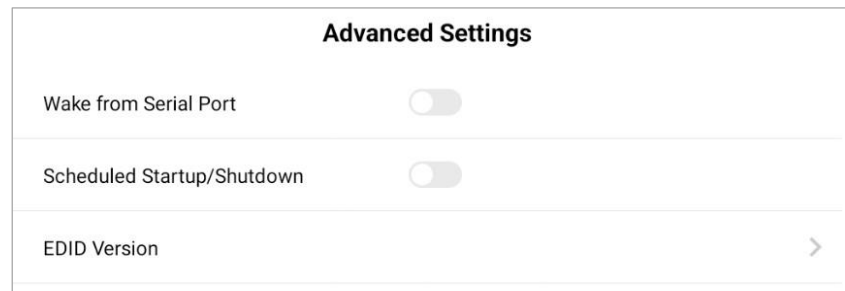


Figure 5-12 詳細設定

シリアルポートからの起動

この機能が有効になっている場合、スタンバイ状態のデバイスはシリアルポートコマンドで起動できます。

スケジュールされた起動/シャットダウン

起動とシャットダウンのスケジュールを設定します。

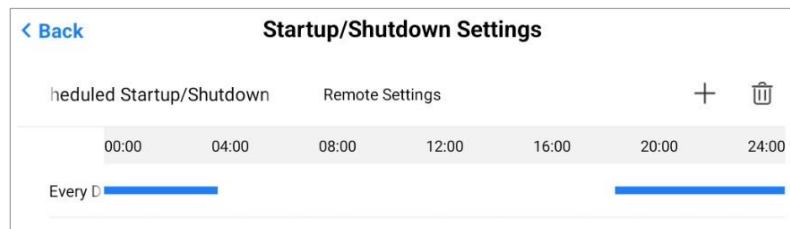


Figure 5-13 スケジュールされた起動/シャットダウン設定

EDIDバージョン

EDIDのバージョンを選択できます。



より遠くを見据え、さらに
先へ